

（仮称）藤沢市こども計画骨子（案）

～第2章・第3章部分抜粋～

第2章 こども・若者、子育て家庭の状況

1. 実態把握の方法

- 統計データによる把握
- 基礎調査の実施概要（アンケート調査、ヒアリング調査、社会資源調査等の実施概要を記載）

2. こども・若者、子育て家庭に関する概況

（1）ライフステージを通じた概況

（ア）人口動態・少子化の状況

- こども・若者に関する人口推移、人口推計
- 18歳未満のこどものいる世帯数、こどものいる世帯の割合の推移

（イ）子育て家庭の状況（家族類型の変化）

- 核家族世帯の数と割合の推移
- 労働力率（M字カーブ、L字カーブ）
- 保護者の就労状況の変化（ニーズ調査）
- 就労状況別の家庭類型の変化（ニーズ調査）

（ウ）困難を抱えやすい子育て家庭に関する概況

- 生活保護受給世帯の18歳未満のこどもの数
- 就学援助受給世帯の数、割合
- 生活困難層の割合（実態調査）
- 現在の暮らしの状況（実態調査5歳保 Q26・小中保 Q20）
- 18歳未満のこどものいるひとり親世帯の数、ひとり親世帯のこどもの数
- 児童扶養手当受給世帯数
- 虐待相談件数の推移
- 障がい児・医療的ケア児に関するデータ

（2）ライフステージ別の概況

（ア）こどもの誕生前から幼児期

- 未婚率、平均初婚年齢、婚姻率、離婚率の推移
- 出生数と合計特殊出生率

（イ）学童期・思春期

- スマートフォン・ゲームの使用時間（実態調査小中子 Q15、Q16）
- 学校の授業がわからないことがあるか（実態調査小中子 Q18）
- 学校に行きたくないと思った（実態調査小5子 Q27A、中2子 Q28A）
- 不登校の児童の数と割合の推移（市立小学校、市立中学校）

- ほとんどできる居場所（実態調査小中子 Q12）
- 悩みごとの相談相手（小 5Q25、中 2子 Q26）
- こどもの悩みごと
- 将来の進学希望（中 2子 Q23）
- 高等学校の中途退学率の推移

（ウ）青年期

- 高等教育の進学率、就職率の推移
- 若年無業者の数と割合の推移
- 自殺
- 結婚に関する意識（若者対象調査）
- こどもを持つことに関する意識（若者対象調査）

（3）子育て家庭の状況

- 現在の暮らしの状況（5歳保 Q26・小中保 Q20）
- 過去1か月間のこころの状態(K6尺度)
- 相談できる相手（子育てに適切な助言をしてくれる人 実態調査5歳 Q24B・小中保 Q17B）
（いざという時のお金の援助を頼める人 5歳 Q24F・小中保 Q17F）
- 子育ての悩みごと（未就学児ニーズ調査 Q28）（実態調査5歳 Q19）（実態調査小中保 Q13）
- こどもを産んでからの経験（実態調査5歳 Q35・小中保 Q29）

（4）こどものウェルビーイングに関する状況

- 生活満足度別の構成割合（保護者と子どもの生活満足度別クロス集計）
- 生活満足度が低いこども
※生活満足度が低いこどもに関する特徴的なクロス集計結果をコラム形式でまとめる

（5）こどもの意見

- 悩んでいるこどものために必要なこと（小5子 Q30、中2子 Q31）
- こどもの居場所に関するニーズ

3. 子ども・子育てに関する本市の取組状況（第3回部会にて検討）

（1）第2期子ども・子育て支援事業計画の評価と課題

- 幼児期の教育・保育に関する利用者数、施設数、待機児童数等の推移
- 放課後児童クラブの利用者数、施設数、待機児童数等の推移
- その他、地域子育て支援事業に関する利用者数、施設数等の推移

（2）子ども共育計画の評価と課題

4. 現状と課題のまとめ（第3回部会にて検討）

第3章 計画の基本的な考え方

1. 計画のめざす基本的な方向性

- 計画のめざす将来像（計画のサブタイトル）とそれらの説明を記載
- 計画推進のための基本的な視点

→ 「資料4」を基本に検討

2. 計画の基本的な方針（第3部会にて検討）

- 計画を取組むにあたり共通する基本的な方針とそれらの説明を記載
- こども大綱の6つの柱（国ガイドラインP6）を元に藤沢市こども計画の基本的な方針を検討する

3. 計画の体系（第3回部会にて検討）